地域共生社会の実現をめざし
新井頸南福祉会が取り組んでいること

令和5年5月

制度、分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく【地域共生社会】の実現を目指し、新井頸南福祉会も、これまでに培った福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域の関係者とのネットワークを活かしながら、様々な活動を行っています。

出前講座

新井頸南福祉会では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みを進めております。積極的に市民への普及啓発活動に取り組むために、介護予防出前講座を開催しています。

認知症サポーター養成講座

新井頸南福祉会の職員で結成した「オレンジ愛ちゃん'S」は平成28年度末から活動を開始して、今年度で6年目を迎えました。これまで各事業所の介護者教室や地域の皆様向けに認知症サポーター養成講座を開催してきました。

コロナ禍においては地域に出向くことができないため、令和3年度は市内の中学3年生向けに、認知症の方への適切な対応について学んでもらえるDVD教材を作成しました。「家族が認知症になったらどのように対応したらよいか」を考えてもらうきっかけとして『お財布がない』『ご飯食べてない』の2つのパターンの寸劇により中学生にも分かりやすい内容だと好評でした。

市民に対して介護予防の普及啓発を図る活動の実績（妙高市）

出前講座				認知症サポーター養成講座			
年度	回数	延べ人数		年度	回数	延べ人数	
平成29年度				平成29年度	13	454	
平成30年度	31	559		平成30年度	12	473	
令和 元年度	33	452	※台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少(回数は増)	令和 元年度	5	262	※お茶の間に出向いて講座を開催
令和 2年度	1	23	※感染症対策を講じた開催もあったが、縮小延期を行わざるを得ない状況となった	令和 2年度	2	47	※感染症拡大防止に配慮し中学生を対象にした講座は中止
令和 3年度	7	106		令和 3年度	5	92	※地域から依頼はあったが感染症者数の増加により中止が続いた
令和 4年度	11	142	9月末現在	令和 4年度	1	8	9月末現在

右の写真は撮影の様子。左の写真は、DVDになったこの場面を中学生が教室で視聴している様子。

オレンジ愛ちゃん'S　メンバー

まちかどカフェ ～困りごと相談所～

NPO法人妙高支え合いネットが平成30年度より妙高市諏訪町の旧セブンイレブン跡地で運営している【まちかどスポーツサロン】で、毎月1回第4土曜日の午後より『まちかどカフェ』を定期開催してきました。

『まちかどカフェ』では、福祉に関する研修会や演奏会などのイベントを開催し、その後のカフェタイムの中で参加された皆様と、高齢者に関係した健康・医療・福祉の最新情報や施設の利用・介護保険制度や介護技術のことなどについてお話をしたり、日頃の介護の悩みなどにも、当法人職員がお応えしていました。また個別に相談できる、『困りごと相談所』を会場に開設し、相談対応をしてきました。

しかし令和2年3月より、新型コロナウイルス感染症が近隣でも出始めたため、『まちかどカフェ』が中止となり、同時に『困りごと相談所』もしばらく休止となりましたが、令和5年5月より再開できることになり、市内の他事業所の方々とも連携しながら、カフェタイムの相談員として、参加者への福祉に関連した情報提供や介護に関する困りごと相談を行っていきます。
他事業所と連携することで地域包括支システムをより一層強化していければと考えています。

介護者教室

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために多くの行事や活動が自粛されてきました。

ワクチンや感染予防対策なども確立されてきましたが、未だ収束と拡大を繰り返している状況です。

令和2年度には、みなかみの里で『書面による開催』も行われましたが、新しい生活様式の中での開催に向けた検討が求められています。

清掃活動

地域の皆さんと一緒に活動することは中止しましたが、感染症対策を行いコロナ禍においても継続して地域の清掃活動を実施していました。